

タルイピアセンターへ行こう！
としょかんへ行こう！

垂井町は「家読(うちどく)」を推進しています

問 タルイピアセンター ☎23-3746 FAX 23-3745

開館時間：午前10時～午後6時(学習室は午後5時まで)

休館日：9/7(月)、14(月)、24(木)、28(月)



電子書籍を読みたい人は
県図書館に申請しましょう



【今月号の新刊】



せかいいちクールなカラス われら美濃柴犬研究班！ —ぼくらの学校で命をつなぐ—

コーリー・R.ティバー、
藤井隆、あさ出版

カラスにはすてきなおともだちがいます。でもなぜか、みんなにそっけない態度をとっていました。実はカラスは、絶体絶命のピンチから大切なおともだちを、みんなの笑顔を、地球の未来を守ろうとしていて…。



今西乃子、浜田一男、
主婦の友社

一時は絶滅の危機にさらされた岐阜のご当地犬、美濃柴犬。岐阜県立大垣養老高等学校「美濃柴犬研究班」の生徒たちが世話する、4歳的美濃柴犬「ほし」の子どもが生まれ、譲渡会をするまでのお話を、「ほし」の視点で綴る。



まじめに不真面目なものづくり —本物みたいなクラフト作品集— おださん、ワニブックス

電気スイッチがジャムパンになった「電気ジャムぱん」をはじめ、本物みたいなクラフト作品を掲載。作品が生まれた経緯やこだわりなどを紹介する。初心者でも挑戦できるようにアレンジした作品の作り方も公開。



ブティック 池井戸潤、ダイヤモンド社

入行3年目、エリート街道を歩んでいた雨宮秋都は、ある案件をきっかけに、理不尽な戦力外通告を受けてしまう。退職を決意した秋都が見つけた、新たな希望とは…？『週刊ダイヤモンド』など掲載を加筆修正。

紹介文：TRC MARC

お知らせ

- ▶テーマ展示「日本と世界の昔話」「きょうはどこへいく?」「昭和100年」
- ▶絵本のよみきかせ会 毎週土曜日 午後2時から
- ▶図書館利用の際には、マイバックをお持ちください。

利用の記録

R8. 7月	開館日数	26日
	入館者数	7,121人
	貸出冊数	13,396冊

歴史探訪

竹中半兵衛の兜

竹中半兵衛といえば、一の谷兜をかぶっていたことが知られています。一の谷とは、源平合戦のとき、源義経が「鶴越の逆落とし」といわれる急坂を駆け下り勝利した古戦場のことで、半兵衛もたいへん縁起がよいものとして一の谷兜をかぶっていたことでしょう。

一の谷兜といえば、一般的には、現在、福岡市博物館に所蔵されている黒田長政が所有していた、頭のとっぺんで大きく前方に反り返った形の兜が有名ですが、竹中家に伝わっている一の谷兜は、後ろに反り返った烏帽子形に近い形状をしたもので、垂井町禅幢寺所蔵の「竹中半兵衛重治像」に描かれたものと同一であると考えられています。

竹中家に伝わった「一の谷兜」を、現在開催中のタルイピアセンター企画展「竹中と豊臣」で、九月一日から九月一六日まで展示しますので、この機会にぜひご覧ください。



いち たになりかぶと
▲一の谷形兜
(伝竹中半兵衛所用)

『垂井町史』通史編・史料編
タルイピアセンター、役場会計窓口、文化会館
で販売中 各4,000円